

茨城大学農学部

秋のミニミニオープンキャンパス

日時：2022年10月22日（土、秋の秋耕祭1日目） 13時～15時40分

場所：農学部フードイノベーション棟2階・霞光ホール

（主催：秋耕祭実行委員会 共催：農学部広報委員会）

- ▶ 3年ぶりの秋耕祭を記念し、小規模ですが秋のオープンキャンパスを開催します。
- ▶ 本来なら研究室見学や実験体験なども行いたいところですが、新型コロナの感染拡大を考慮し、**農学部説明会**と**模擬授業**のみの実施とします。
- ▶ **事前申し込みは不要です**。また途中入退室も可です。
- ▶ 本学部の受験をお考え中の高校生およびその保護者を主な対象としますが、秋耕祭に来場された一般の皆さまの参加も歓迎します。

13:00	模擬授業①：人口減少問題の最前線～2040年を支える君たちへ 担当：牧山正男（地域総合農学科 地域共生コース） 2040年の日本は、深刻な少子・高齢化や重度の人手不足により、自然環境保全だけでなく、都市インフラの管理や、人と人とのつながりの希薄化など、さまざまな困難が予想されます。いま高校生の皆さんは、そのころ30代半ば。地域共生の視点から、この時代をどう支えるかのヒントを提供します。
13:30	
13:40	農学部説明会 ✓ 農学部長あいさつ ✓ 農学部のアドミッションポリシーとカリキュラムポリシー ✓ 両学科の教育カリキュラムと特徴的な研究、卒業後の進路 ✓ 農学部で取得可能な資格 ✓ 令和5年度入試について、その他
14:20	
14:30	模擬授業②：食品の安全をみまもる“食品分析” 担当：鎗田孝（食生命科学科） 皆さんは日ごろ“食の安全”が気になっていませんか？ 多くの人たちのはたらきによって、私たちが毎日食べる食品の安全性が確認されています。この講義では、食の安全を確保する仕組みと、それに欠かせない“食品分析”をご紹介します。皆さんが知っているあの科学実験が、食品分析でも活躍しています。
15:00	
15:10	模擬授業③：害虫退治の昔と現在、これから 担当：菊田真吾（地域総合農学科 農業科学コース） 農作物の生産上、害虫による加害は深刻です。その被害を止める方策のひとつに農薬があります。本講義では、昔に使われてきた農薬と現代でよく使われている農薬を紹介します。また、農薬は環境負荷に対する懸念があって、今後の害虫退治では、農薬の使用を減らす効率性が求められています。こうした課題に向けて、害虫だけにピンポイントで効く農薬のタネ探しを紹介します。
15:40	